



『海に浮かぶ小学校』旧赤崎小学校

窓から外を見ればそこは一面海。下を見ても海。そのため『海に浮かぶ小学校』として知られる旧赤崎小学校。旧赤崎小学校は昭和51年（1976年）に建設され、長い月日が経ったことで耐震性・耐久性と児童数の減少の問題で平成22年3月31日をもって廃校となりました。

この学校は36年間という永い間、たくさんの生徒を見守り、また見送ってきました。

AKASAKI 日誌

美術プロジェクト

アートな旧赤崎小学校



校舎のさまざまなところにある丸窓。どうしてあのような形になっているのか知っていますか？実は、あれは客船をイメージして造られたものだそうです。学び舎に取り入れられたこのユニークな発想。まさにアートな建物。

この旧赤崎小学校をもっとアート溢れる建物にしようとプロジェクトを始めました。その名も『AKASAKI海想日誌』。ここから今回のワークショップが始まりました。

テーマ『AKASAKI海想日誌』

住民参画型の美術プロジェクトはこれで4回目となります。今回のこのプロジェクトのテーマは『AKASAKI海想日誌』。旧赤崎小学校というアートな建物で、よりアートな活動をやってみたいという思いから実現しました。

第1回

参加者が赤崎小に対する気持ちや、それぞれが思い描くこの地域の将来を紙粘土で表現し、弁天島を臨む丸窓に張り付けました。



第2回

「発信！AKASAKIコレクション」

不織布にペイントしたり、切り貼りしたりして自由に洋服を作成。校舎横の海岸でファッションショーを開催しました。



第3回

「いのちの繭玉体験記」

不織布を蚕が吐き出す糸に見立てて教室いっぱい大きな繭玉を作成。ほかにも本物の蚕の糸を巻き取ってみたい、蚕にフェルトなどを張り付けてオリジナルのキーホルダーを制作しました。

